

# 株式会社 岐阜放送

## 次世代育成支援対策推進法に基づく 一般事業主行動計画

令和8年3月1日

代表取締役社長

山本 耕

株式会社岐阜放送は、不規則勤務を含む業務特性の中でも、社員一人ひとりがライフステージや個々の事情にかかわらず継続して働ける環境を整備するため、業務改善と柔軟な勤務運用の定着を目的として、次の行動計画を策定する。

### 1. 計画期間

令和8年3月1日 ~ 令和10年3月31日（およそ2年間）

### 2. 目標および取組内容

#### 目標1

業務の棚卸しと負荷の偏りの是正を進め、不要業務の削減・業務の再分配・共有化を通じて少人数でも持続可能な業務体制を構築する。

<対策>

#### [1年目：令和8年3月～令和9年3月]

- ・各部門で業務内容の棚卸しを行い、不要業務・重複業務を洗い出す
- ・勤怠データを活用し、業務量や勤務負荷の偏りを把握する
- ・特定個人に集中している業務を整理し、削減可能な業務の見直しを行う
- ・簡易手順書、簡易マニュアルの作成を随時進め、属人化の軽減を図る

#### [2年目：令和9年4月～令和10年3月]

- ・業務の再分配を実施し、複数人に対応できる体制を整備する・業務共有を前提とした引継ぎ体制を定着させる

---

#### 目標2

多様な事情を抱える社員を含め、全社員が働き続けられる柔軟な勤務運用を整備する。

個々の事情に応じた働き方を認めることが、組織全体の持続可能性につながるという認識のもと、制度の活用を促進する。

<対策>

**〔1年目〕**

- ・ファミリーデー（職場見学）を年に一回程度継続的に実施し、家族の職場理解を促進する
- ・育児・介護制度の簡易ガイドを配布し、相談窓口を明確化する
- ・テレワーク制度の利用状況を確認し、運用上の課題を整理する
- ・時差出勤の実態を整理し、柔軟な勤務調整の運用を確認する

**〔2年目〕**

- ・テレワーク利用者、時差出勤利用者を増やすべく、課題を踏まえて活用しやすい環境づくりを継続して進める

---

**目標3**

健康負荷の軽減をはかるため、勤務間インターバルの確保と健康管理の推進を図る。

<対策>

**〔1年目～継続〕**

- ・深夜勤務・休日勤務後の勤務間インターバル確保を推奨する
- ・健康診断およびストレスチェック結果を踏まえたフォローを行う

**〔2年目〕**

- ・取り組み一年目の勤務実態を踏まえ、健康配慮の運用状況を確認し必要に応じて見直す

以上